

# ONE FOR ALL ALL FOR ONE



先日は学芸会にお越しいただき、ありがとうございました。「小学校最後の学芸会」という意識をもち、みんなが道具作りから役作り、当日の演技まで本当に一生懸命取り組みました。それぞれがやりきった充実感でいっぱいだと思います。

2学期も終わりに近づき、少しずつ卒業を意識する子も出てきました。学芸会での努力を忘れず、日々の生活に生かしていきたいと思います。

## 12月の予定

- 4日（火）②租税教室  
6日（木）⑥委員会  
卒業アルバム委員会写真撮影
- 10日（月）**集金日**  
11日（火）} 個人懇談  
12日（水）} 一斉下校 13:15  
13日（木）}
- 20日（木）⑥クラブ  
21日（金）終業式・通学団会議  
付添下校 11:30

### 12月の集金について

学年費	1,000
給食費	4,500
手数料	10
合計	5,510

残高確認をお願いします。

### 個人懇談について

**11日(火)・12日(水)・13日(木)**

短い時間ですが、よろしくをお願いします。

同時に、北館第2パソコン室に図工作品を展示しますのでご覧ください。北館廊下には修学旅行の写真の掲示も行います。掲示写真は購入できます。

学芸会について、担任の独り言です。

最後の学芸会どうしようか…夏休み前から本格的に考え始めました。5年では朗読、4年では音楽劇、3年では学習発表的なオリジナル劇だったと聞いたので、のびのびと演技ができる劇をしようと決めました。知り合いの先生に台本を貸してもらったり、原作を読んだり DVD を見たりして、28人でできる「人間になりたがった猫」をつくりました。

そして劇をするにあたって『殻を破れ!』というテーマを勝手につくってしまいました。なぜかという、あまり変化のない人間関係の中で過ごしているせいか、子どもたちは、自分の役割・キャラを固定してしまっているとずっと感じていたからです。そのため高学年になり個性が伸びてきても、以前からのキャラに縛られている子がいるような気がしていました。また人数が少ないからこそ、必要以上に友達に配慮してしまって、逆に肝心なことははっきり言い合えなかったり、お互いに遠慮がちになってしまっているとも感じていました。その結果、「一人一人はがんばり屋さんで真面目な子。でも、人数が集まると一人一人のその力が発揮できない」というのがクラス全体の4月初めの印象です。今年度は6年生として、お互いに高め合える『クラスとしての力』をつけたいと思っていました。そのためにも『殻を破れ!』。6年生28人だけで目標に向かって取り組める大きな学校行事の学芸会だから、「今まで通りではだめだ」となったのです。

練習を始める前に、みんなに話をしました。『最後の学芸会。全員が何かひとつ殻を破ってほしい。全員で殻を破り、同じ方向を向いて取り組むことができれば、他の先生方もお家の人も驚くすごい力が出るはず。みんなはそれだけの力を秘めている』と。昨年度の6年生の作文から、『挑戦することで、新たな世界を見ることが出来る』ということも話しました。その後、役を決めてみると、たくさんの子が今までは選ばなかったような役に挑戦してくれていました。

子どもたちからは『最後だから、全員で全力でやりたい。自分たちでがんばってやりたい』との考えも出され、その言葉通り、大道具も小道具も子どもたちから「こういうのが作りたい」という意見がたくさん出てきました。協力して案を出し、どんどん道具を作っていく姿を見て、準

備段階から意気込みを感じました。体育館練習が始まると、私から、意識してほしいこと、目に見えない感情、表現したい雰囲気をつくさん伝えました。難しい注文をしたと思いますが、みんな自分のセリフの意味、人物の感情を考えて言い方や動きを考えてくれたり、同じ場面に出演する子同士、同じ役の子同士で意見を出し合ったりして、練習を重ねる度にどんどん良くなっていきました。間の取り方や自分のセリフのないところでの動きや表情、台本にない表現は難しかったと思いますが、そういった表現は6年生だからできることだし、より内容に入り込み、役になりきることに繋がったと思います。また、ライト等の演出にも力を入れ、舞台に立っていない子たちには裏方にまわってもらうことで、本当に『全員で創る』劇になりました。

今までの殻を破って新たな挑戦をした子、自分の役割を自覚して最後まで演じきった子…全員が同じ方向を向いて取り組むことができました。全員の力が合わさって、本当に良い劇になったと思います。「やりきった。充実感がある。」と感想文を書いてくれた子がたくさんいます。それだけ集中して取り組み、自分で満足できるものであったということだと思います。

『人はみんな誰でも一人では生きていけないから、いつも素敵な友達とこの手をつなぐのさ』劇のテーマであると同時に、今回のクラスのテーマでもありました。友達、仲間がいれば、難しいことでもやり遂げられる。がんばろうと思わせてくれるのは仲間。仲間がいるから自分もがんばることができて、自分のがんばりがまた仲間の力になる。みんなで劇を創りあげたことは、仲間の力、クラスの力を成長させてくれたと思います。

正直、最初はやりきれぬのか不安でした。でも。みんなの挑戦が、全力が、どんどん形になって表れるのを見ていて、本当に楽しかったし、うれしかったです。ありがとうございました。